

平成22年産水稻うるち米の品種別作付動向について

社団法人米穀安定供給確保支援機構（米穀機構）では、水稻うるち米生産にかかる基礎的な資料を整備する観点から、道府県行政への聞き取り等により、平成22年産水稻うるち米の品種別作付比率を取りまとめました。

作付比率の概要は次のとおりです。

【概要】

- 平成22年産水稻うるち米において、全国で最も作付が多い品種は「コシヒカリ」（作付比率37.6%）でした。
2位は「ひとめぼれ」（同9.9%）、3位「ヒノヒカリ」（同9.8%）、4位「あきたこまち」（同7.7%）、5位「キヌヒカリ」（同3.2%）でした。
- 作付比率上位10品種が全体に占める割合は78.8%、上位20品種では86.8%でした。

【作付面積の比率】

- 道府県の品種別作付比率については、道府県が公表している数値や聞き取った数値、または種子流通量をもとに米穀機構が独自に推計した数値を使用した。

【その他】

- 作付比率は水稻うるち米に対する値であり、もち米および陸稲の作付比率は反映していない。
- コシヒカリ新潟BL等一部の品種について、以下のとおり集約して集計した。

品種名		集計した品種名
コシヒカリ新潟BL	⇒	コシヒカリ
あいちのかおりSBL	⇒	あいちのかおり
ハツシモ岐阜SL	⇒	ハツシモ
ササニシキBL	⇒	ササニシキ

平成22年産水稻うるち米の品種別作付比率上位20品種

単位：%

順位	品種名	作付比率	主要産地
1	コシヒカリ	37.6	新潟、茨城、福島
2	ひとめぼれ	9.9	宮城、岩手、福島
3	ヒノヒカリ	9.8	熊本、大分、福岡
4	あきたこまち	7.7	秋田、岩手、茨城
5	キヌヒカリ	3.2	兵庫、滋賀、埼玉
6	ななつぼし	2.8	北海道
7	はえぬき	2.6	山形
8	きらら397	2.1	北海道
9	つがるロマン	1.6	青森
10	まっしぐら	1.5	青森
上位10品種の合計		78.8	
11	あさひの夢	1.2	栃木、群馬、愛知
12	こしいぶき	1.2	新潟
13	あいちのかおり	1.0	愛知
14	夢つくし	1.0	福岡
15	彩のかがやき	0.8	埼玉
16	ほしのゆめ	0.7	北海道
17	ハナエチゼン	0.6	福井
18	ハツシモ	0.6	岐阜
19	ササニシキ	0.5	宮城
20	ふさこがね	0.5	千葉
上位20品種の合計		86.8	

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

平成22年産水稻うるち米の道府県別上位3品種の作付比率

単位：%

都道府県	1位		2位		3位		3品種 合計
	品種	比率	品種	比率	品種	比率	
北海道	ななつぼし	41	きらら397	30	ほしのゆめ	10	81
青森	つがるロマン	51	まっしぐら	47	むつほまれ	2	100
岩手	ひとめぼれ	69	あきたこまち	19	いわてっこ	7	95
宮城	ひとめぼれ	82	ササニシキ	9	まなむすめ	6	97
秋田	あきたこまち	81	ひとめぼれ	9	めんこいな	6	97
山形	はえぬき	61	ひとめぼれ	14	コシヒカリ	10	85
福島	コシヒカリ	66	ひとめぼれ	23	あきたこまち	3	92
茨城	コシヒカリ	80	あきたこまち	12	ゆめひたち	3	95
栃木	コシヒカリ	80	あさひの夢	15	なすひかり	5	99
群馬	あさひの夢	32	ゴロピカリ	26	コシヒカリ	22	79
埼玉	コシヒカリ	36	彩のかがやき	36	キヌヒカリ	21	93
千葉	コシヒカリ	70	ふさこがね	12	ふさおとめ	10	93
神奈川	キヌヒカリ	74	さとじまん	18			92
新潟	コシヒカリ	77	こしいぶき	17	五百万石	2	96
富山	コシヒカリ	84	てんたかく	10	てんこもり	2	97
石川	コシヒカリ	76	ゆめみづほ	15	能登ひかり	3	94
福井	コシヒカリ	60	ハナエチゼン	25	イクヒカリ	6	91
山梨	コシヒカリ	72	あさひの夢	8	ひとめぼれ	7	86
長野	コシヒカリ	75	あきたこまち	16	ひとめぼれ	2	93
岐阜	ハツシモ	37	コシヒカリ	32	ひとめぼれ	9	78
静岡	コシヒカリ	44	あいちのかおり	22	キヌヒカリ	18	84
愛知	あいちのかおり	41	コシヒカリ	24	あさひの夢	7	72
三重	コシヒカリ	81	キヌヒカリ	10	みえのゆめ	3	94
滋賀	コシヒカリ	40	キヌヒカリ	25	日本晴	12	77
京都	コシヒカリ	53	キヌヒカリ	24	ヒノヒカリ	16	93
大阪	ヒノヒカリ	73	キヌヒカリ	15	きぬむすめ	12	100
兵庫	コシヒカリ	34	キヌヒカリ	32	ヒノヒカリ	20	86
奈良	ヒノヒカリ	67	ひとめぼれ	11	キヌヒカリ	8	85
和歌山	キヌヒカリ	43	イクヒカリ	12	コシヒカリ	11	66
鳥取	コシヒカリ	55	ひとめぼれ	35	きぬむすめ	3	93
島根	コシヒカリ	71	きぬむすめ	22	ハナエチゼン	5	99
岡山	ヒノヒカリ	26	アケボノ	19	コシヒカリ	17	61
広島	コシヒカリ	45	ヒノヒカリ	22	あきろまん	10	76
山口	コシヒカリ	33	ひとめぼれ	27	ヒノヒカリ	25	86
徳島	コシヒカリ	48	キヌヒカリ	34	ヒノヒカリ	8	90
香川	ヒノヒカリ	47	コシヒカリ	38	はえぬき	5	90
愛媛	ヒノヒカリ	34	コシヒカリ	28	あきたこまち	27	88
高知	コシヒカリ	54	ヒノヒカリ	27	黄金錦	5	85
福岡	ヒノヒカリ	48	夢つくし	41	元気つくし	3	92
佐賀	夢しづく	31	ヒノヒカリ	26	さがびより	21	78
長崎	ヒノヒカリ	61	にこまる	19	コシヒカリ	16	96
熊本	ヒノヒカリ	54	コシヒカリ	13	森のくまさん	13	80
大分	ヒノヒカリ	77	ひとめぼれ	12	コシヒカリ	4	93
宮崎	ヒノヒカリ	49	コシヒカリ	45	まいひかり	4	98
鹿児島	ヒノヒカリ	65	コシヒカリ	22	はなさつま	5	92
沖縄	ひとめぼれ	87	ちゅらひかり	9			96

- 注 1) 道府県の公表値や聞き取り値、または種子流通量をもとにした独自の推計による。
 2) 作付比率は、道府県における水稻うるち米に対する値である。(もち米および陸稲を含まない)
 3) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。